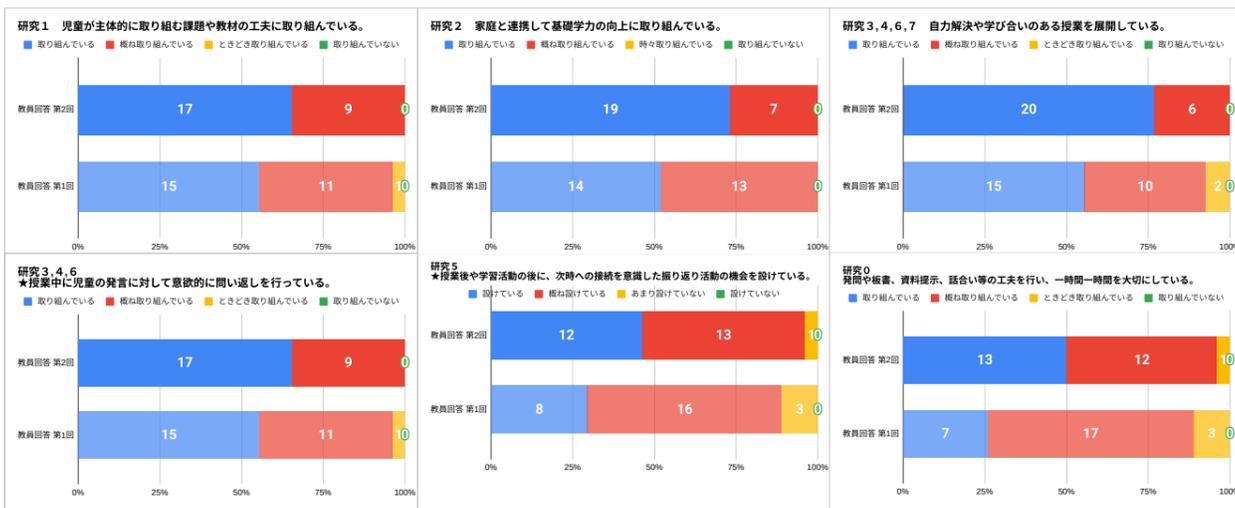
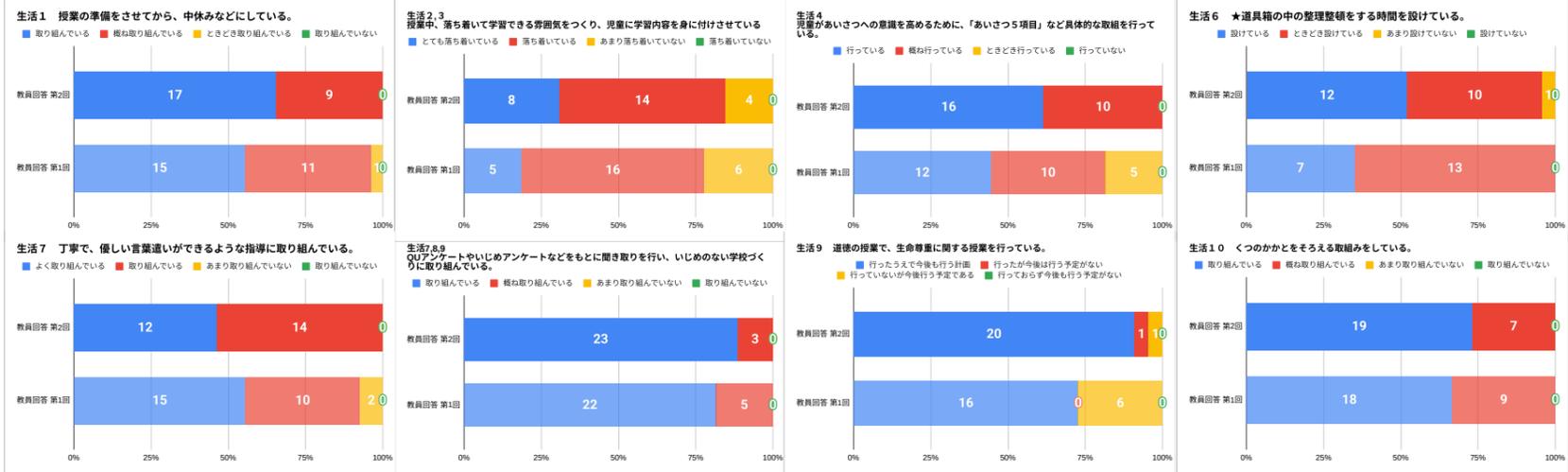


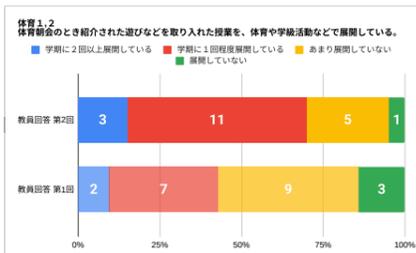
令和7年度学校評価 第2回 教員アンケート



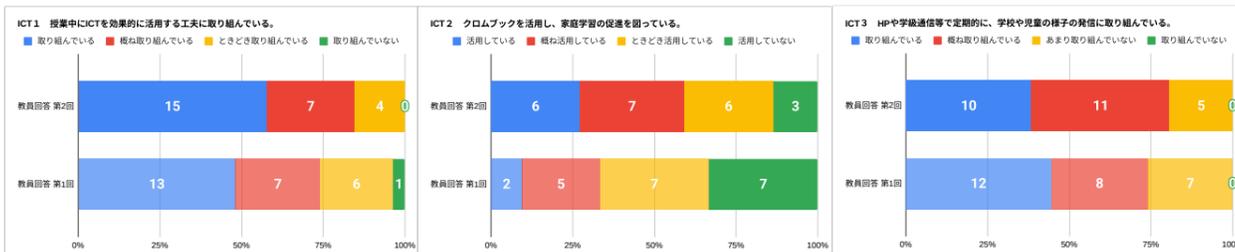
第2回教員アンケートでは、「主体的に取り組む課題や教材の工夫【研1】」が96.2%から100%へ（+3.8ポイント）、「自力解決や学び合いのある授業【研3・4・6・7】」が100%で維持となりました。特に、児童の発言に対する問い返し【研3・4・6】は96.2%から100%へ（+3.8ポイント）と伸び、思考を深める対話の工夫が定着してきています。次時への接続を意識した振り返り【研5】も92.3%から96.2%へ（+3.9ポイント）に増加し、「分かったこと」「次に試したいこと」を書かせる取組が広がりました。家庭と連携した基礎学力向上【研2】も88.5%から96.2%へ（+7.7ポイント）へと上昇しており、授業改善の取組が校内に浸透していることがうかがえます。



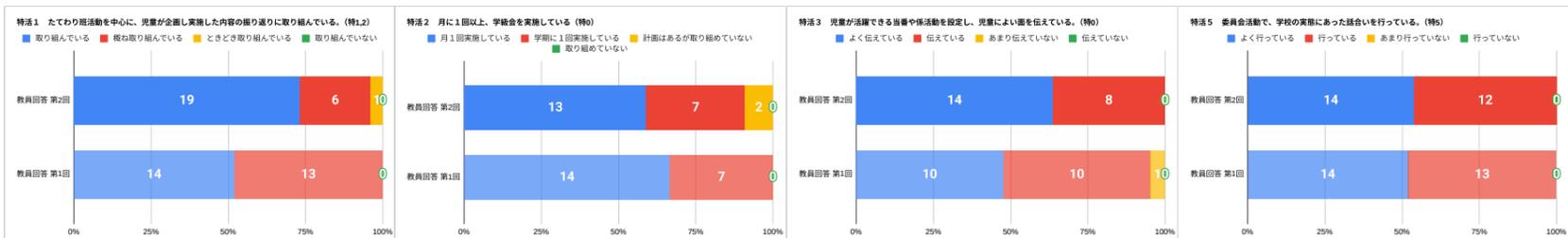
【生活6】の項目以外、すべてポイントが高くなりました。毎日の清掃活動の後や金曜日の下校指導などで、お道具箱の整理整頓をする時間を明確に設けるようにしていきます。引き続き指導をしていきます。しかし、児童アンケートと比較すると、各項目で差がありました。同じ手立てを繰り返しているのに、児童の気持ちに慣性が生まれていると考えられます。各学期ごとに手立てを変えるために、指導方法の研修会を行い、児童の気持ちが慣性にならないよう工夫していきます。



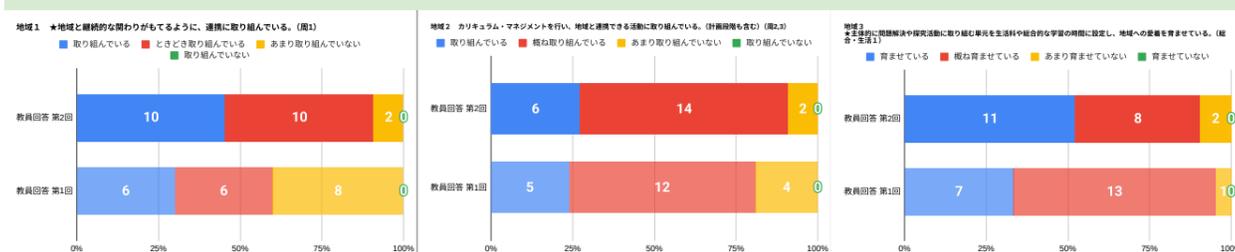
1回目比べて肯定的回答が大幅に増加しました。体力向上週間や体育委員会による遊びの紹介動画等が、2学期以降となったのも要因と考えられます。遊びの紹介は3学期に行ったため、アンケート結果に反映されていません（紹介されてすぐに取り組んでいるクラスや運動クラブがありました）。来年度も体力向上週間や遊びの紹介など、児童が楽しく運動できる機会を設定していきます。遊びの紹介は今年度よりも早い時期に行えるように働きかけていきます。



第2回教員アンケートでは、ICT1「授業中のICT活用」で肯定的回答が76.9%から84.6%へ（+7.7ポイント）に上昇し、「取り組んでいない」は0%となり、日常的な活用が定着してきました。ICT2「家庭学習でのクロムブック活用」も肯定的回答が26.9%から50.0%へ（+23.1ポイント）と大きく増加し、否定的回答が減少しました。校内での活用事例の共有や持ち帰りの計画化、担当からの具体的な声掛けが進んだことが背景にあると考えられます。一方で、計画的な持ち帰りを実施しているにもかかわらず、なお否定的回答が見られることから、持ち帰り時の目的の明確化や家庭への周知方法について精査していく必要があります。また、ICT3「情報発信」は肯定的回答が76.9%から80.8%へ（+3.9ポイント）と微増にとどまりました。HPの更新頻度や役割分担の在り方を見直し、発信の継続性を高めていくことが今後の課題です。



第1回と比べ、第2回のほうが高い数値になっています。特に【特1,2】のたてわり班活動の振り返りでは、担当や担任の先生方の声掛けもあり、定期的に児童と打ち合わせをすることができています。一方、【特0】では、学級会の計画はあるが取り組んでいない、の数値が増減しました。行事が多く時間をとることが困難ではありますが、定期的な実施できるよう、行事にむけた話し合いの提案や学級会ガイドの活用をすすめていきます。



【地域1】【地域2】については、第1回よりも第2回のほうが高い数値となっています。一方で【地域3】については、「育てている」の割合が増えましたが、「あまり育てていない」の割合も増えました。地域と連携して活動を行っていましたが、その活動をもとに地域への愛着を持たせていくことが難しかったと考えられます。また、「愛着を育んだ状態」を明確にし、今後は地域と連携した活動をする際に、地域のどのようなよさを伝えられるのか、明確にしながら進められるよう計画していきます。